



平成25年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 タカチホ

コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 久保田 知幸

問合せ先責任者 （役職名） 執行役員経営企画部長 （氏名） 渡辺 三千也 TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
25年3月期第1四半期	2,942	17.5	△51	—	△62	—	△39	—
24年3月期第1四半期	2,503	—	△112	—	△128	—	△81	—

（注）包括利益 25年3月期第1四半期 △41百万円（—％） 24年3月期第1四半期 △82百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△6.23	—
24年3月期第1四半期	△12.95	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
25年3月期第1四半期	7,564	1,543	20.4	246.66
24年3月期	7,420	1,586	21.4	253.55

（参考）自己資本 25年3月期第1四半期 1,543百万円 24年3月期 1,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	0.00	—	2.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	12,800	10.0	230	171.3	180	316.5	70	—	11.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 11社 （社名）株式会社ひだ銘販 、 除外 1社 （社名）—
株式会社東京旬彩堂 他9社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	7,275,000株	24年3月期	7,275,000株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,016,329株	24年3月期	1,016,329株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	6,258,671株	24年3月期1Q	6,258,671株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信[添付資料]P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務危機再燃から円高・株安の進行や電力の安定供給への懸念など景気の先行きは不透明感が漂う状況にありましたが、東日本大震災からの復旧による企業活動の回復などにより、全体として持ち直しの動きがみられました。

このような状況の下、当社グループでは「有望市場への積極的な販売網の拡充」の基本方針に基づき、当第1四半期は、当社グループの中心的事業でありますみやげ卸売事業と、みやげ小売事業におきまして積極的な販路拡大及び直営小売店の新規出店を実施してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,942百万円（前年同四半期比17.5%増）、営業損失は51百万円（前年同四半期は112百万円の損失）、経常損失は62百万円（前年同四半期は128百万円の損失）、四半期純損失は39百万円（前年同四半期は81百万円の損失）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社子会社により地域の特色を生かした商品開発と提案による販路の拡大、5月に開業いたしました東京スカイツリー及び関連市場への商品供給による積極的な販路と業容の拡大を進めてまいりました。その結果、売上高は1,676百万円（前年同四半期比19.4%増）となり、営業利益は11百万円（前年同四半期は10百万円の営業損失）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、当社みやげ小売ブランド店として新東名高速道路清水PA内に「富士旬粋店」を4月にオープンし、みやげ小売の販路拡大を図ってまいりました。その結果、売上高は485百万円（前年同四半期比97.6%増）となり、営業損失は8百万円（前年同四半期は44百万円の営業損失）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、上記のスカイツリー関連の新商品や「旬粋」ブランド関連商品の販売の他、各観光地の取引先の地域性を生かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めてまいりました。その結果、売上高は153百万円（前年同四半期比50.3%増）となり、営業利益は4百万円（前年同四半期は17百万円の営業損失）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、各種イベントの企画・実施等や接客・サービスのレベルアップに努め、各施設のリピーター客の増加に努めました。その結果、売上高は380百万円（前年同四半期比7.0%減）となり、営業損失は53百万円（前年同期は7百万円の営業利益）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は32百万円（前年同四半期比1.5%減）となり、営業利益は8百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりました。その結果、売上高は211百万円（前年同四半期比5.4%減）となり、営業利益は16百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

⑦その他

その他は、長野市内においてギフト店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりました。その結果、売上高は263百万円（前年同四半期比4.7%増）となり、営業利益は10百万円（前年同四半期比73.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、7,564百万円、負債は6,020百万円、純資産は1,543百万円となりました。

(資産)

流動資産の主な内訳は、現金及び預金858百万円、受取手形及び売掛金1,036百万円、商品及び製品779百万円であります。

固定資産の主な内訳は、有形固定資産2,836百万円、投資その他の資産1,687百万円であります。

(負債)

流動負債の主な内訳は、支払手形及び買掛金548百万円、短期借入金2,329百万円であります。

固定負債の主な内訳は、社債300百万円、長期借入金1,799百万円であります。

(純資産)

純資産の主な内訳は、資本金1,000百万円及び資本剰余金720百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日開示の平成24年3月期決算発表時と変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、連結範囲の変更に伴い株式会社赤城銘販、株式会社ひだ銘販、株式会社佐渡銘販、株式会社郡山銘販、株式会社蔵王銘販、株式会社富士銘販、庄和堂株式会社、株式会社奥羽銘販、株式会社札幌旬彩堂、株式会社青森銘販及び株式会社東京旬彩堂を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社、アウトドア用品事業の商品の評価方法は、従来、売価還元法によっておりましたが、新在庫管理システムが本稼働し、商品の受払に基づく在庫計算がシステム化されたことに伴い、より合理的な商品の評価及び適正な期間損益の計算が可能になったため、当第1四半期連結会計期間から総平均法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、システムの対応が不可能なため前連結会計年度の期末における商品の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり適用しております。

なお、当該変更による商品、売上原価及び各段階損益並びに1株当たり情報への影響額は僅少であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	976,269	858,989
受取手形及び売掛金	894,782	1,036,191
商品及び製品	590,143	779,452
原材料及び貯蔵品	67,420	79,399
その他	103,751	125,782
貸倒引当金	△5,544	△6,824
流動資産合計	2,626,821	2,872,991
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,532,163	1,533,082
土地	1,007,443	1,007,443
その他（純額）	289,901	296,164
有形固定資産合計	2,829,508	2,836,691
無形固定資産	166,504	167,966
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,022,217	1,030,615
その他	826,065	707,218
貸倒引当金	△50,945	△50,740
投資その他の資産合計	1,797,337	1,687,092
固定資産合計	4,793,350	4,691,750
資産合計	7,420,172	7,564,741
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	468,821	548,016
短期借入金	2,423,454	2,329,942
未払法人税等	42,139	18,636
賞与引当金	55,307	96,787
返品調整引当金	6,353	5,904
ポイント引当金	10,154	10,840
その他	489,183	432,385
流動負債合計	3,495,413	3,442,512
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	1,555,125	1,799,974
役員退職慰労引当金	53,054	53,479
資産除去債務	314,572	316,287
その他	115,113	108,703
固定負債合計	2,337,865	2,578,444

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債合計	5,833,279	6,020,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	720,835	720,835
利益剰余金	71,310	30,608
自己株式	△199,767	△199,767
株主資本合計	1,592,377	1,551,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,484	△7,889
その他の包括利益累計額合計	△5,484	△7,889
純資産合計	1,586,893	1,543,785
負債純資産合計	7,420,172	7,564,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	2,503,664	2,942,959
売上原価	1,923,020	2,220,414
売上総利益	580,644	722,544
販売費及び一般管理費	692,878	774,435
営業損失(△)	△112,234	△51,891
営業外収益		
受取利息	1,939	2,076
受取配当金	310	310
仕入割引	716	1,015
受取事務手数料	1,616	3,013
その他	1,437	2,894
営業外収益合計	6,021	9,310
営業外費用		
支払利息	21,725	19,252
その他	556	475
営業外費用合計	22,282	19,727
経常損失(△)	△128,495	△62,308
特別利益		
受取補償金	—	12,440
特別利益合計	—	12,440
特別損失		
固定資産除却損	160	—
特別損失合計	160	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△128,656	△49,867
法人税、住民税及び事業税	6,546	16,142
法人税等調整額	△54,183	△27,005
法人税等合計	△47,637	△10,862
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△81,019	△39,004
四半期純損失(△)	△81,019	△39,004

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△81,019	△39,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,593	△2,405
その他の包括利益合計	△1,593	△2,405
四半期包括利益	△82,612	△41,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82,612	△41,410
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事 業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への	1,395,753	245,695	53,344	409,338	27,869	223,870	2,355,871	147,793	2,503,664	—	2,503,664
売上高											
セグメント間											
の内部売上高	8,708	—	48,992	—	5,142	—	62,844	103,849	166,694	△166,694	—
又は振替高											
計	1,404,462	245,695	102,337	409,338	33,012	223,870	2,418,715	251,643	2,670,358	△166,694	2,503,664
セグメント											
利益又は	△10,230	△44,460	△17,398	7,516	9,316	19,766	△35,491	6,065	△29,425	△82,809	△112,234
損失(△)											

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事 業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への	1,617,498	485,509	63,552	380,717	26,513	211,751	2,785,543	157,415	2,942,959	—	2,942,959
売上高											
セグメント間											
の内部売上高	58,899	—	90,295	—	6,000	—	155,194	106,127	261,321	△261,321	—
又は振替高											
計	1,676,397	485,509	153,847	380,717	32,513	211,751	2,940,737	263,542	3,204,280	△261,321	2,942,959
セグメント											
利益又は	11,696	△8,487	4,010	△53,321	8,153	16,620	△21,328	10,546	△10,782	△41,108	△51,891
損失(△)											

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。